

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学と理科の3教科を実施しました。

国語と数学の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	76.1%			○		
国語B	61.2%			○		
数学A	66.1%				○	
数学B	46.9%			○		
理科	66.1%			○		

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.2%					○
書くこと	73.9%	○				
読むこと	76.7%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5%			○		

【考察】

- 「書くこと」の領域について、全国平均を下回っています。問題の条件に合うように文章を書いたり、適切に書き直したりする力に課題があると考えられます。高校入試にも出題されるような条件作文や、書いた文章を推敲する活動を授業で取り入れて指導していきます。
- 「話すこと・聞くこと」、「読むこと」については、全国平均を上回っています。普段の授業から話し合い活動を意識して多く取り入れ、読み取りの授業においても、課題や形式を工夫して取り組んでいった結果だと考えられます。
- 漢字の読みは正答率が上回っていましたが、漢字の書きが下回っています。また、主語や述語などの文法事項の正答率が下回ったので、基礎的な学習内容からもう一度文法事項の見直しを指導していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	76.6%		○			
書くこと	31.3%					○
読むこと	53.5%		○			
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	49.2%					○

【考察】

- 「読むこと」の領域について、全国平均をやや下回っています。文章だけではなくグラフ、表などを読み取り、文章との関係を考える活動を行ってまいります。
- 「書くこと」については、全国平均を上回っています。今後はさらに授業でも、内容を整理して書いたり、わかりやすい文章を書いたりする機会を増やし、さらに力をつけていくよう指導していきます。
- 「話すこと・聞くこと」領域の、特に「質問を考える」問題の正答率が下回っています。話し合い活動を通し、内容を捉えるだけではなく、質問させることを意識させて指導していきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	71.1%		○			
図形	69.1%			○		
関数	55.5%					○
資料の活用	63.5%					○

【考察】

- 「数と式」の領域は全国平均をやや下回っています。絶対値の意味を理解しているかを問う問題や、数量の大小を不等号に表す問題は上回っています。具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができるかを問う問題、方程式の問題が下回っています。数学的な技能を授業ばかりでなく家庭学習で補充しながら定着を図るように努めていきます。
- 「図形」の領域は全国平均とほぼ同じです。半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解できるかを問う問題が上回っています。証明の必要性と意味を理解している問題が下回っています。教科書だけでなく、実際の図形を使い操作しながら理解できるように努めていきます。
- 「関数」「資料の活用」の領域は全国平均を上回っています。比例のグラフから x の変域に対応する y の変域を求める問題が下回っています。普段の生活で資料の活用したり、関数を用いながらグラフ化したりし、生徒自ら主体的に活動できる授業を続けていきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.4%					○
図形	46.7%				○	
関数	52.8%	○				
資料の活用	38.0%	○				

【考察】

- 「数と式」の領域は全国平均を上回っています。事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明する問題が上回っています。数学的な見方、考え方をさらに伸ばしていくよう支援していきます。
- 「図形」の領域は全国平均をやや上回っています。条件から証明したり、根拠を説明したりする問題は全国平均を上回っています。逆に条件を変えたときの問題は下回っています。今後も発展的な問題に触れさせて、応用力を伸ばせるように努めていきます。
- 「関数」「資料の活用」の領域は全国平均を下回っています。「関数」の領域では列車の運行のようすをグラフ化する問題が下回っています。「資料の活用」の領域では確率を用いて説明する問題が上回っています。家庭学習と学校生活をリンクさせて、活用力を伸ばすように支援していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物理的領域	74.4%	○				
化学的領域	65.0%					○
生物的領域	72.5%					○
地学的領域	57.8%	○				

【考 察】

- 「物理的領域」「地学的領域」については、全国平均を下回っています。光、電流計、風向など自然事象についての知識・理解が下回っています。普段の授業から基礎的・基本的な内容を反復練習させ、力を伸ばしていくよう努力していきます。
- 「化学的領域」は、全国平均を上回っています。特に濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる問題が上回っています。一方、化学式のアリミニウム原子の記号の表し方について、発熱パックに入っているアリミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる問題が全国平均を下回っています。観察・実験を通しながら原子・分子を説明したり、苦手意識を払拭しながらデータの読み取り方を理解したりすることができるよう努めていきます。
- 「生物的領域」は、全国平均を上回っています。特に科学的な思考・表現を問う問題が全国平均を上回っています。逆に、神経系の働きについての知識を問う問題が全国平均を下回っています。主体的、対話的で深い学びを実践すると共に、下回った分野を家庭学習等でも補充しながらしっかりと定着させるよう努めていきます。

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9
3	白河南中	3.8	17.0	52.8	22.6	3.8	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 家庭学習については、「1時間以上」の生徒が7割であり、「1時間未満」の生徒は全国平均を下回っています。学校全体で家庭学習の充実に取り組んでおり、家庭学習に取り組む意識が全員に見られます。
- 全体的には全国平均より家庭学習に取り組む時間が少ないので、家庭学習の内容や苦手分野の課題を出題するなどして、学習意欲を高め、進路実現に向けて支援していきます。
- ご家庭でも家庭学習のノートを見ていただき、励ましの言葉かけやアドバイスなどをお願いいたします。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
中	全 国	16.6	35.5	34.8	13.0
3	白河南中	17.0	34.0	37.7	11.3

(単位 %)

【考 察】

- 定期テストでは範囲表や計画表を利用し、計画を立てて学習に取り組んでいます。また、学年全体で共通の課題を配布するなどの支援をしています。ほとんどの生徒に自分の計画に沿って学習に取り組む姿が見られます。
- 今後も「計画を立てて学習する」という自己マネジメント力を多くの生徒につけるために、個別に支援や助言を行い、「全くしていない」生徒をなくします。
- ご家庭でも中間テストや期末テスト前に計画表を見ていただき、困っているときにはアドバイスなどの声をかけてあげてください。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	全 国	6. 1	8. 7	16. 1	22. 6	13. 5	32. 9
3	白河 南中	1. 9	3. 8	24. 5	34. 0	11. 3	24. 5

(単位 %)

【考 察】

- 平日に読書を全くしない生徒が4分の1います。読書は思考の幅を広げたり、言語環境を整えるのに役立ったりしますので学校では、朝自習の時間に読書を行ったり、校内読書会を行ったりしています。他にも、図書委員会の活動では学級ごとに本を読んだらその内容を紹介する一冊読破チャレンジを行って、本に親しんでもらいたいと取り組んでいますので、今後も継続していきます。
- 今後も新しい本を購入し、学校図書の活用を呼びかけていきます。

4 自分にはよいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかといれば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	33. 7	45. 1	15. 2	6. 0
3	白河 南中	15. 1	64. 2	13. 2	7. 5

(単位 %)

【考 察】

- 3年生として活動する場も増えて、自分によいところがあると感じている生徒が多く見られます。
- 今後は、称賛する場を増やしたり、達成感が味わえたりするような経験を増やし自己肯定感の涵養を進めていきます。また、よさを直接あるいは「生活記録ノート」を活用して伝えていきます。